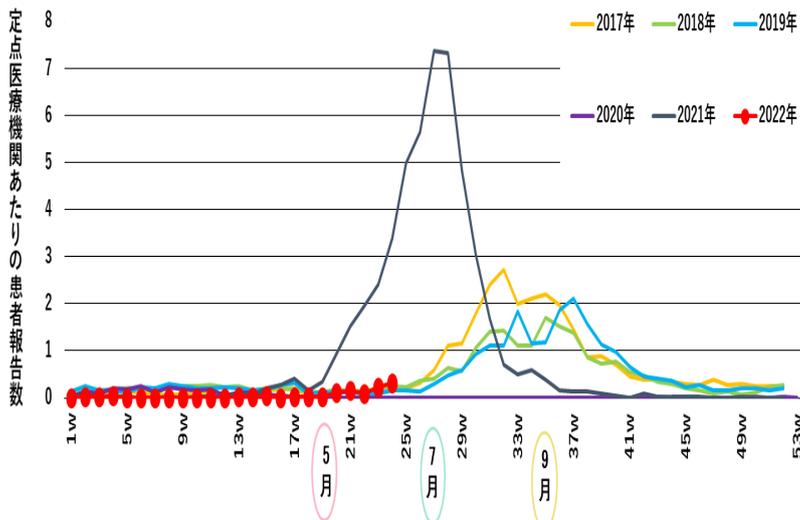


RSウイルス感染症に気を付けましょう

～神奈川県内の発生状況～

RSウイルスは、通常秋から冬にかけて流行するかぜのウイルスの一種です。2歳になるまでにほとんどの人がかかるありふれたウイルスですが、一度かかっても終生免疫は得られないので、何度もかかる可能性があります。

神奈川県内におけるRSウイルス感染症の報告数



定点医療機関：一定の人口割合で定められた医療機関



○近年は夏から秋にかけて流行がみられていました。

○2020年は新型コロナ対策の影響か、流行は見られませんでした。

○2021年は近年よりも流行がさらに早まり、ピーク時の報告数も例年の2-3倍以上でした。

これは前年に流行がなく、RSウイルスに対する免疫を持たない児が多かったことと、前年に比べると他者との接触の機会が増加したことが影響していると考えられます。

2022年は・・・

5月頃から報告数が増加傾向であるものの、第24週時点で、例年に比べて著しい報告数の増加は認めません。

RSウイルス感染症とは

感染経路 飛沫感染・接触感染

潜伏期間 約4日間

症状 発熱、鼻水、のどの痛み、咳
初感染の乳児は重症化する可能性があります。

治療 特別な治療はありません。
ワクチンはありません。

登校基準 出席停止等の規制はありません。
呼吸器症状が消失し、全身状態が良好なことが登校の目安です。

RSウイルス感染症の対策は・・・

1 マスクをつける！

マスクをしっかりとつけることで飛沫感染を予防する。

2 手洗い、うがい、消毒をする！

手洗い、うがいをこまめに行い、食器やテーブル、おもちゃなどを消毒する。
感染者とタオルを共有しない。

3 症状軽快後も注意を！

軽快後も1週間程度ウイルスの排出が続くので周囲に感染させないように注意する。

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和4年6月作成)